

## さかみち



● さかみちの会 愛知県岡崎市中町1-8-4 <http://www.okazaki-u.ac.jp> <http://www.okazaki-c.ac.jp> e-mail:doso@okazaki.ac.jp

## —「さかみちの会」誕生—

皆様、お元気にてご活躍の事と存じます。日頃は同窓会にご支援、ご協力をいただき深く感謝しております。

灯台山にある母校への「さかみち」は、学生時代の誰もが通る青春の足音を、全て受け止めてくれた思い出深い道しるべとなりました。幾度となく立ち止まり、振り返り、歩み続けた達成感は大きな力となり、仲間と過ごした時間は今は懐かしく、自分史の中で生きております。

平成29年岡崎女子大学第一期生が卒業の年を迎え同窓生となります。同窓会名「さかみちの会」とし岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の卒業生にとり新たな一歩が始まります。今後も同窓生の絆を深め、輪を広げて行く努力を重ねて、多くの仲間の道しるべ「さかみち」を登り「学ぶことは生きること」と念じ、進んでまいりたいと思います。

全国の同窓生の皆様

会員の皆様の期待と温かいご声援を受け、気持ちが引き締まる思いです。今後も母校と卒業生が両輪の輪となるよう活動を続けてまいります。遠く離れていても、いつも仲間のこと、貴女の幸せを祈りいつの日かお会いできる事を楽しみにしております。

最後になりましたが、母校の一層の発展を祈念しご挨拶と致します。



岡崎女子大学・岡崎女子短期大学同窓会  
さかみちの会

会長 藤田 光子

## —再び岡崎の地へ—

今年度より岡崎女子大学並びに岡崎女子短期大学の学長職を拝命いたしました。責任の重さをひしひしと感じております。同時に、同窓生の皆様がたと再び近しいご縁をいただくことができ、大きな喜びと感謝を体中で感じています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

私と岡崎女子短期大学とのご縁は、1975年(昭和50年)に始まりました。今から42年前、20代が終わろうとする時でした。当時の岡崎女子短期大学の周りには未だ高層の建物は少なく、灯台山から見渡すと、岡崎の街なみが良く見えました。隔世の感があります。また、当時も保育者に対する需要は高く、就職率は高水準を保っていましたが、保育の制度や様相は大きく変わりました。子ども・子育て支援新制度のもと、認定こども園が誕生し「保育教諭」という名称が生まれました。保育者が専門家として子育て支援も担うようになり、保育者が関わる公的な職務が拡がって、それに伴い負うべき責務も拡張しました。ここにも隔世の感が否めません。

ビジネスの世界で働く女性の意識にも大きな変化が生じました。子どもをもっても働き続けたい、と希望する女性は半数以上に上っています。女性企業家や女性管理職も珍しくありません。

私自身のことで言いますと、同窓生のご息女がたが、私の授業を受けてくださることに感動を覚えたことも多々ありました。また、かつて授業で出会った方々が保育の現場で園長先生や主任先生になられて活躍されていることをお聞きするたびに、心から嬉しく思ったものでした。そして、最近「今年で定年退職です」と書かれた年賀状をいただくようにもなりました。ひときわ隔世の感を深めております。

今年度から同窓生として岡崎女子大学の卒業生が加わるようになりました。同窓会は一段と飛躍していかれることと期待しています。同窓生の皆様におかれましては、どうぞご健勝にてますます充実した人生を歩んでくださいますことを祈念いたしております。

私は、再び岡崎の地に戻ってまいりました。皆様の母校で皆様とお目にかかれることを楽しみにしております。



岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学

学長 林 陽子

## 短大と大学が同窓会を一緒に

### 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学同窓会名称 「さかみちの会」に決定!

岡崎女子短期大学は昭和40年に設立され、岡崎女子短期大学同窓会も多くの卒業生を迎えました。また、平成25年に同じ学び舎に岡崎女子大学が開学し、この春第一期生63名が卒業され、同窓会にお迎えし、活動していきます。

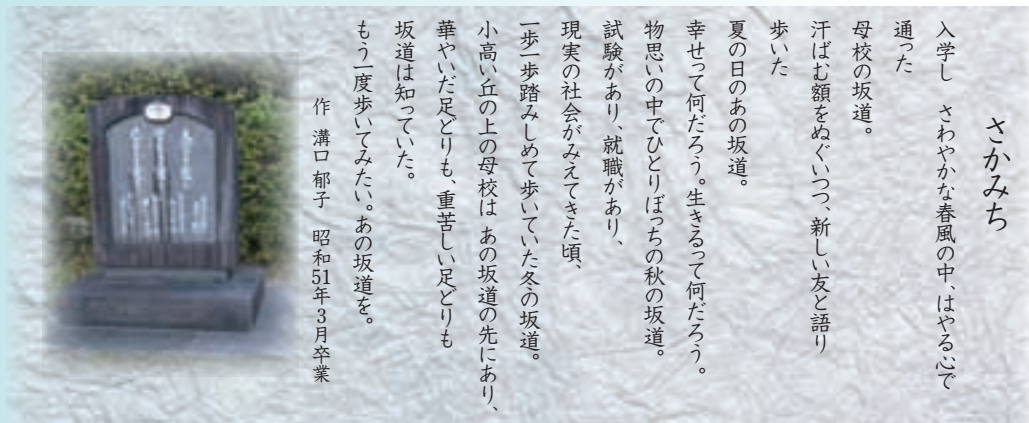
「岡崎女子短期大学同窓会」の名称を改め、岡崎女子大学卒業生と岡崎女子短期大学卒業生が共に愛着を持って参加できるような名称を1年かけて募集し、検討してきました。

会員の皆様には、同窓会報や総会で主旨と名称を募集したところ、短大一期生から大学一期生、教職員も含め49件の幅広いご応募がありました。

平成29年1月19日役員会において厳選の結果、「さかみちの会」に決定されたので、ご報告いたします。

同窓会員の皆様に愛されてきました同窓会報「さかみち」、この親しまれてきた言葉を素直に表し、学生生活を想いおこし母校を懐かしみこれからの道標としていただけるよう「さかみちの会」といたしました。

最後になりましたが、ご応募していただきました皆様には心から感謝申し上げます。



#### さかみち

入学し さわやかな春風の中、はやる心で  
通った

母校の坂道。

汗ばむ額をぬぐいつつ、新しい友と語り

歩いた

夏の日あの坂道。

幸せて何だろう。生きるって何だろう。

物思いの中でひとりぼっちの秋の坂道。

試験があり、就職があり、

現実の社会がみえてきた頃、

一步一步踏みしめて歩いてきた冬の坂道。

小高い丘の上の母校はあの坂道の先にある、

華やいた足とりも、重苦しい足とりも

坂道は知っていた。

もう一度歩いてみたい。あの坂道を。

作 溝口 郁子 昭和51年3月卒業

## さ・か・み・ち・に・思・う

灯台山の坂道。小高い丘の上にある校舎までは、少しきつい坂道が続いています。

バスを降りて校舎を目指す学生たちは、51年の間、変わることなく明るい声と笑顔を坂道に置いていってくれています。一步一步踏みしめながら登っていくような坂道に、24,000名を超える卒業生の足跡が深く刻まれ、その歴史が、坂の下から力強く「岡崎女子大学・岡崎女子短期大学」を支えてくれているような気がいたします。

三河にあるべき大学として、岡崎女子短期大学は、昭和40年に創立されました。当時、岡崎女子短期大学第一期生の彼女たちは、地域の大きな期待の中、この坂道で何を語っていたのでしょうか。

今年3月には、平成25年4月に開学した岡崎女子大学の一期生が卒業をいたしました。希望や期待、または不安を背負っていた彼女たちも、また、この坂道に何を語り、刻んで巣立っていったのでしょうか。学生達の歴史を見守り続けているこの坂道は、新たに加わった歴史の跡に何を感じたでしょうか。

十干十二支でいうと、丁酉の今年は、果実が実り刈り取時期にあたり、新しい物事を始めるには良い年回りといわれています。「岡崎女子短期大学同窓会」が「さかみちの会」として今年、生まれかわりました。良い年に新しい出発ができたのではないかと、益々の発展を期待せずにはられません。

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学のシンボルマークは、「大学と短大」・「大学と学生」・「大学と社会」が、または「学生と教職員」・「在学生と卒業生」が、さまざまな立場や角度から、互いに支えあい協働する姿を表現しています。同窓生の皆さんが、社会や地域、家庭から世界にまで、様々な立場から、益々活躍されますよう、本学園も「さかみちの会」と協働し、丘のふもとから頂上まで伸びる坂道のように力強く支えていきたいと思ひます。

同窓生の皆さんも、誇りと自信を持ち、後輩のために、またこの「灯台山の坂道」を登ってきてください。これから先も、一緒に「さかみち」を登り降りしながら、灯台山の頂が輝き続けるよう、皆さんと共に歩み続ける学園でありたいと思ひます。



岡崎女子大学  
岡崎女子短期大学

#### 前学長 長柄 孝彦

# 卒業生の声

## 「四年間の思いを胸に」 岡崎女子大学 子ども教育学部一期生 都築 瑠美



4年前、私は小学校の頃から思い描いていた保育者になる夢を抱き、この岡崎女子大学に入学しました。その頃の自分を思い返すと、保育についての知識や技術はほとんどなく、ただあるのは漠然とした「保育者になりたい」という想いだけだったと感じます。

入学してすぐに、多くのサークルに所属し、活動に励みました。その中でも最も力を入れて取り組んだのは「児童文化研究部はとぽぽぽ」という演劇サークルです。そこで出会った短大生の仲間と、様々な市町村でのボランティア活動や、大学祭や定期公演など数々の演劇舞台を築き上げてきました。その大切な短大生の仲間の卒業式では、自分より少し先に社会に巣立つ彼女達にエールを送りながら涙しました。

3年生になり、実習が始まるとそれぞれが大きな不安と悩みを抱えましたが、私達の上の学年には、それを相談する「先輩」と呼べる4年生はいませんでした。そのため、仲間に悩みを相談し、共に考えたり、励まし合ったりして、学年全員で苦しい時を乗り越えてきました。その過程で、自分達で何とか頑張ってみようとする力や、もう少し踏ん張ってみようとする根性を育むことができたと思います。この4年間で、私達一期生の絆はとても深まっていったと感じます。

そんな私達が知りたいことを学び、やりたいことに挑戦することができる環境を提供してくださったのは教職員の方々でした。常に私達の意見に耳を傾けて、身近な存在として私達の成長を一番に喜んでくださいました。また就職活動の際には、夜遅くまで、履歴書の添削や面接練習、ピアノの練習に時間を割いて、「共に頑張ろう」と声をかけ、励まし、支えていただき、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、私達は岡崎女子大学一期生として卒業しました。尊敬する先輩方がそろそろ同窓会の一員になれることを誇りに思います。この4年間で培った保育者としての技能と精神を胸に、支えていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、努力していく所存です。

## 平成29年度 入学式に、岡崎女子短期大学 第二期生が招待されました



### 「入学から51年」

岡崎女子短期大学 保育科二期生 阿部 明子

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学へのご入学おめでとうございます。

この度の入学式に、二期生としてお招きをいただき、ありがとうございます。来年古希を迎える私達と50歳も若い方々と、入学式の厳かな場に同席させていただける事に感謝しています。

思い起こせば51年前、岡崎の灯台山に創立されたばかりの岡崎女子短期大学に入学をさせていただきました。また、同級生のほとんどが保育園や会社で働いていたため年齢も様々でしたが、誰もが同じ志しを持っており、お互いに刺激し合い、充実した環境のなかで授業を受ける事が出来ました。2年間という凝縮された中で、学生と仕事の両立は大変ではありましたが、若かったからこそ成し得た事と、今では懐かしく思います。その後、念願の資格を取得した私たち同級生は、卒業後、働きながら通学をさせていただいた事に感謝し、再び同じ職場に戻ったり、新規に保育園、幼稚園、施設に就職をしてそれぞれがスタートしていきました。

私が保育園に在職中、学生さんの実習では積極的に子どもさんと関わったり、しっかりと挨拶が出来る事に感心しました。と同時に実習生の皆さんの姿を通して、岡短の先生方の熱心なご指導を感じる事が出来ました。そして学生さんと先生方が一体となり、その積み重ねが岡崎女子短期大学の歴史となっている事に深く感銘しています。

私が定年まで働き続けられたのは、家族の支えはもちろんですが、可愛い園児たちと共に過ごせた事と、職場の皆さんに常に暖かいお力添えがいただけたからです。また岡崎女子短期大学で学びの機会を得て、保育士としての礎を築いていただけた事に深く感謝し、誇りに思っています。

学生の皆さん、大学がポリシーとして大切にしている「子どもの心に寄り添う事の出来る保育者」を目指し、日々努力され、楽しい学園生活を過ごされますよう、そして同窓会の仲間は皆さんの未来を心から応援しています。

平成28年度(昨年度)

## 入学式に、岡崎女子短期大学 第一期生が招待されました

第一期生の方より、「50年の歴史と伝統のある本学」で、新入生の皆さんが、この重みをしっかりと受けとめ多くの先輩方に続いて、「豊かな感性と教養を養い、教育や保育に対応する実践力を身につけ、社会ニーズを迅速に感じる自立した職業人」として、勉学に励んでもらいたいという思いを伝えていただきました。

また、その様子が平成28年4月2日(土)の中日新聞(西三河版)に掲載されました。



OKAJO・OKATAN 2017

# ふるさと探索

秋田県  
にかほ市

## 近くに来たら秋田にもどうぞ

幼児教育学科第三部 昭和61年3月卒業  
佐藤 恭子(旧姓 鷹島)

みなさん、こんにちは。岡短を卒業して早や30年。そして今年、縁あって

娘が岡短にお世話になっております。友達や先生、周りのいろいろな方々に恵まれ、毎日楽しくく

らしている娘の話を聞いて幸せだなあと感じております。  
では、私の住んでいる「にかほ市象潟町」を紹介します。秋田県と山形県の県境にあり、海と山に囲まれた自然豊かな町です。海底が隆起して出来た九十九の小さな島があちこちに浮かぶ田園風景や、樹齢300年で、幹回り7.62mの異型ブナ「あがりこ大王」を見ることが出来、松尾芭蕉が訪れた最北端の景勝地です。

食べものも、海・山の幸に恵まれ、カキと言えば冬のイメージですが、象潟町では夏に食べます。鳥海山からの伏流水と海水の入り交じった所で採れる岩カキは最高です。他にもタラ、ハタハタ、きりたんぼ鍋と美味しいものがいっぱいあります。機会があったら、うつくしい景色と美味しい物を食べに立ち寄り下さい。



▲なまはげ 娘と一緒に写しました



▲東北で2番目の「鳥海山」標高2236mです

東京都  
八王子市

## 母から子へ～ 未来への架け橋

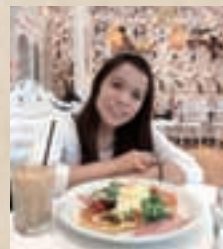
幼児教育学科一部 平成6年3月卒業  
佐々木 麻美(旧姓 山西)

岡短を卒業してはや23年、卒業後には地元愛知の保育園に勤め、結婚してからも家事、育児と両立しながら保育に携わってきました。そして現在、長女が保育の道を目指し、岡短で学んでいます。長女と共にオープンキャンパスに訪れた時は、新しくなった施設に魅了され、お世話になった先生方にお会いすることができ、とても懐かしくなりました。夏には、私も体験させてもらったアメリカの海外研修に娘も参加し、異文化の交流を通じ世界の恵まれない子どもたちへの支援をしたいと新たに目標を持ち学業に励んでいます。

そして私はバレーボールで日本一を目指している長男と共に、現在東京に住み、こちらの保育園に勤め、我が家は東京と愛知の二重生活をしています。ということと娘は、主人と弟と共に家事を手伝いながら学業に頑張ってくれている訳であります。家族の支えがあるからこそ、それぞれの目標に向かって前を向いて頑張っていけるのでしょね。娘をはじめ、家族には本当に感謝しています。

私が現在勤めている保育園は、園内でのスキルアップ研修や各種勉強会も多く、大変勉強になります。また、伝統芸能である太鼓や踊りも取り入れ、行事を盛り上げてくれます。東京での保育を学ぶことができ、今までの保育を見つめなおすことができました。

保育の現場から、また子育てから学ぶことが多くまさに人間教育の場だなと直感しております。“夢を持つこと、それは輝いた自分へのチャレンジ”。それぞれ夢は違いますが母から子へ、子から孫へ、未来の夢と夢をつなぐ架け橋になればいいと思っています。また、未来の子どもたちへ夢を諦めずチャレンジしていく心を育てていけたらと思っています。そしていつか、娘と共に保育を通し、ともに話し合えるような時が来るよう願っています。



▲リフレッシュのひと時



▲2代目娘の入学式

愛媛県  
四国中央市

## 43年ぶりの再会

幼児教育学科第三部 昭和49年3月卒業  
尾藤 多恵子(旧姓 大西)

岡短を卒業し地元の保育園を定年退職後、いつか母校や職場を訪れたいと思っていたのですが、昨年その夢が叶いました。岡女・岡短の大学祭に合わせ岡崎にいる同級生や山口・岩手・長野にいる後輩達と43年ぶりに会うことができたのです。先輩達の背中を見ながら仕事と学業、時に眠さと戦いながら過ごした3年間。「みんながいたから頑張れたんだよね」と友の声、ほんとうにそう思います。

岡短も大変立派になっていて、また私達の突然の訪問にも拘わらず歓迎していただき嬉しかったです。また、勤め先のフジボウ小坂井工場は新規事業になり、敷地内も縮小されてはいましたが、会社の方が遅くまで案内してお話して下さいました。皆さんのやさしさにふれることができ良い旅となりました。そして友との再会で元気をいっぱいもらって帰ってきました。また会いましょうね。私の住む四国中央市は全国屈指の紙のまちです。昨年の第9回『書道パフォーマンス甲子園』には34都道府県の96校の応募があり予選を勝ち抜いた21校が出場しました。高校生達の熱い戦いを見に機会があれば是非いらしてください。



▲2016.12.26(月)の新聞



▲(右から)本人、藤澤 ひろみ(旧姓与那覇) 柴田 良子(旧姓小林)、金野 公子(旧姓村上) 蘭香 通子(旧姓緒方)、熊井 美和子(旧姓丸山)

鳥取県  
米子市

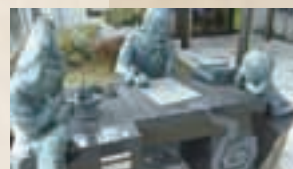
## 妖怪に会いに来て

初等教育学科 平成6年3月卒業  
足立 順子(旧姓 戸田)

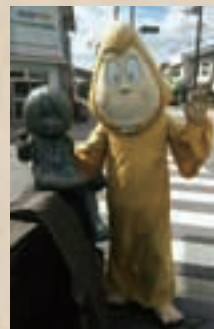
皆さんお元気ですか?岡短を卒業して早くも20年以上がたちました。学校で講師をしていたこともあり、現在は鳥取県の保育士として児童福祉施設でお仕事をしています。

鳥取から岡短に行き、その当時間もみんなに驚かれたものです。鳥取と言えば全国で一番人口が少ないというイメージから、人より妖怪の方が多いのではないかとテレビなどでよく言われています。そうです、最近鳥取で有名なのは砂丘ではなく「水木しげるロード」です。800メートルの商店街にたくさんの妖怪のブロンズ像があり、にぎやかに妖怪たちがお出迎えてくれますよ。妖怪をモチーフにした饅頭やまぐろラーメンなど食べ物のお店も多いです。妖怪がダイナミックに描かれた電車も走っており、休日にはたくさんの方が、県外からも訪れています。

鳥取は海もきれいで、温泉もあり、大山という大きな山もあるので登山やスキーなど飽きることなく過ごすことができます。ゆっくりと、またはアクティブにと楽しみ方は自由自在です。もちろん壮大な砂丘もお忘れなく!!みなさん、ちょっと遠いですが、是非、遊びに来て下さいね。



▲水木しげる先生は仕事中です



▲ねずみ男がお出迎え

静岡県  
浜松市

“実家のような場所”

幼児教育学科第一部 昭和59年3月卒業  
清水 典子(旧姓 藤坂)

皆さん、こんにちは。岡短を卒業して早33年がたちました。私は、現在、NHK大河ドラマ「女城主 直虎」で有名な浜松市に住んでいます。

ドラマの影響で、直虎の菩提寺である龍潭寺(りょうたんじ)大河ドラマ館のオープン、天浜線の列車やラッピングバスが運行されたりと市内各所で盛り上がりを見せています。この辺は、湖あり、山ありと年間を通じて過ごしやすく住みやすい町です。

そんな所で主人、義父母と共にみかん専業農家をしており、子どもは成人し、少しずつですが自分の時間を持てる様になり、趣味や地域の活動を通して年代の違う人とも縁ができ、充実した日々を過ごしています。

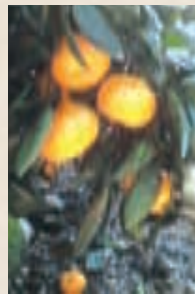
去年は岡短同窓会の後にクラスメートのお声かけで10名と少人数でしたが学内のカフェテリアでランチをとりながらクラス会を行いました。

初めは「顔は分かるけど名前が…」と少し時の長さを感じましたが、話しをしているうちに、学生時代に戻ったかの様に話しができあつという間に時がたちました。

やはり、こうして集まれる場所、実家の様な場所があるっていいなとつくづく感じました。次回は、さらに多くの人たちと集まり語り合うことができたらいいなと思いました。皆さんも帰って来ませんか？



▲平成28年5月8日の同窓会総会の後、大学のカフェテリアにてクラス会 久しぶりの再会



▲愛情こめて作っているみかん

愛知県  
尾張旭市

ホノルルマラソンへの挑戦

現代ビジネス学科 平成26年3月卒業  
木曾 実咲

私は平成26年に岡短を卒業して名古屋で働いています。

豊田市足助町で生まれ育ち、住みはじめてから周りの様子の違いを感じています。名古屋は足助とは正反対の環境で、朝の満員電車等慣れるまで大変な気持ちでした。3年目を迎え、環境や仕事にも慣れてきて今では仕事の終わりにジムに通ってストレス発散しています☆

16年の冬にはホノルルマラソンに挑戦し、初めてのフルマラソンを完走することができました。ホノルルマラソンは、老若男女、国境を越えて、色んな方々が参加します。そして、何より景色が綺麗!挑戦した人にしか分からない大きな感動があります。たくさんのお会いのなかで一緒にホノルルマラソンに挑戦した小学生の女の子と出会い、今は文通をしています!学生の頃は社会人は仕事ばかりで忙しい毎日なのだろうと想像をしていましたが仕事以外でも、趣味を充実させたり、挑戦したりと、可能性はいつでも無限大だと思います。おそらく、学生の頃より今の方が色々なことに挑戦し、充実した日々を送っているのではないかと感じています。



▲初のフルマラソン「ホノルルマラソン」完走



▲バランスボールで体力up

三重県  
松阪市

歴史ある  
松阪市へ

子ども教育学部 平成29年3月卒業  
磯崎 実優

皆さん、こんにちは。私は岡崎女子大学の第一期生としてこの春卒業し、地元の三重県松阪市で公務員として働きます。岡崎市は私の地元と似ている部分があり、4年間岡崎市で一人暮らしをしていく事に不安はありませんでした。これから、地元の園で働くにあたり、4年間この大学で学んできたことを発揮できるように頑張っていきたいです。

さて、私の地元は、愛知県の隣にある三重県松阪市です。松阪市は「松阪牛」と「御城番屋敷」が有名です。城下町として今もなお大切に保存されている御城番屋敷には一般住民の方が住んでいます。そして、昔ながらの風景を城跡公園から眺めることができます。また、松阪市の隣にある伊勢市には日本一有名な「伊勢神宮」があります。新年あけて一番に思うことは「今年も伊勢神宮に行かなければ」。年に一度ではなく、何度も訪れたいくなるそんな心休まる場所です。初詣は1月1日の夜が穴場です。(笑)ぜひ一度松阪市にも伊勢市にも訪れてみてください。



▲伊勢神宮



▲御城番屋敷

愛知県  
豊橋市

昭和浪漫サロンに  
関わって

人間福祉学科 平成22年3月卒業  
佐藤 有紀奈

皆さんこんにちは。

私に関わっている大学の行事の紹介をさせていただきます。2009年にゼミ活動から始まった、「昭和浪漫サロン」が多くの学生さんや先生方のおかげで7年経過した今でも続いていることはとてもうれしい限りです。今は、「笑話浪漫サロン」と名前が変わり高齢者だけでなく、子どもや保護者も加わり大学の外で活動して都合が合うときはOGとして参加させてもらっています。興味のある方は、ぜひ遊びに来てほしいです。地域と学生を繋ぐ新しい取り組みだと感じていますし、子どもを持っているお母さんにとっても普段触れ合えない人たちや、先生とのよい時間になるのではないのでしょうか。今、私は介護福祉士として福祉施設で働いていますが、サロン活動が私の福祉の原点であり、その原点に帰ることが出来る場所があることがすごく心強いです。これからも続けていって欲しいイベントの一つです。

大学の行事といえば、今年度の大学祭の日に合わせて、同窓会室を借りてクラス会を行いました。定期的会っている友達や、卒業してから初めて会う友達、先生方に大学で会えてとても楽しい時間になりました。



▲京都の下鴨神社のイルミネーションを見に行きました!!



▲丘咲祭の時にクラス会をしました

平成29年度予定

# オカジョ オカタンに いらっしやい!!

Welcome to  
okajo・okatan

4月9日 日 同窓会幹事会及び新幹事歓迎会



▲同窓会 新幹事歓迎会

5月14日 日 同窓会総会・高野優氏 講演会



▲桜2016

6月25日 日 さかみちの会 in 高浜(オカジョ・オカタンの話♥和♥輪)

6月28日 水 丘の上の音楽会(大学)



▲丘咲祭 同窓会コーナー

7月16日 日 「お帰りなさい岡女・岡短へ」



▲「お帰りなさい岡女・岡短へ」で

11月4・5日 土 日 丘咲祭

12月6日 水 学生音楽祭(短大)



▲丘咲祭 笑話浪漫館

12月10日 日 子ども教育フォーラム(大学)

2月10・11日 土 日 幼児教育祭



▲子ども教育フォーラム



▲きらきらイルミネーション



▲幼児教育祭

## OPEN CAMPUS \ 10:00~14:00 /

6/4 SUN・7/9 SUN・8/26 SAT・8/27 SUN

オカジョ&オカタン LIFE をリアル体験!!

### 入試相談会

10:00~13:00

現代ビジネス学科限定

大学限定

5/20 SAT

10/15 SUN

## 入試について

岡崎女子大学は今年創立5年目となり、一期生が卒業いたしました。また、岡崎女子短期大学は今年創立52年目を迎えることとなりました。これもひとえに同窓生の皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。母娘、姉妹はもとより、最近では祖母・孫ともに本学へ入学・卒業という方もいらっしやいます。同窓生の皆様には、次のような制度がありますので、ぜひご本人ならびに同窓子女の岡崎女子大学・岡崎女子短期大学へのご入学・ご編入をご検討いただきますようお願い申し上げます。

### 岡崎女子大学 編入学試験

岡崎女子短期大学の半世紀にわたる実績を基盤にした岡崎女子大学が開学され5年目を迎えました。今後ますます現代社会の複雑で多様なニーズに対応しうる保育者・教育者の養成が求められています。岡崎女子大学でキャリアアップしてみませんか?

**岡崎女子短期大学卒業生の方は、入学金を全額免除します**

**試験日** I期 平成29年 9月16日(土)

II期 平成30年 2月 1日(木)

**試験科目**

小論文、面接

### 同窓子女減免制度

同窓子女の皆様が岡崎女子大学・岡崎女子短期大学にご入学の場合、減免の制度があります。

**同窓子女の皆様は、入学金を半額免除します**

**同窓子女とは**

岡崎女子大学および岡崎女子短期大学に在籍中の者または岡崎女子大学および岡崎女子短期大学に在籍した者の二親等内の親族(姻族を除く)

または 岡崎女子短期大学付属幼稚園(嫩幼稚園・第一早蕨幼稚園・第二早蕨幼稚園)卒園者

ご関心のある方は、入試広報課 ☎ 0120-351018 まで資料をご請求ください。

# さかみちの会

in 高浜 (オカジョ・オカタンの話♡和♡輪)

「オカジョ・オカタン」という共通の絆をもって、みなさん語り合いませんか？  
キラキラした思い出を振り返り、現在のオカジョ・オカタンの様子を聞き、フレンチレストランでお食事をしながら、これからのオカジョ・オカタンを語り合しましょう。

**とき** 平成29年6月25日(日)  
11:00~13:00

野菜をたっぷり  
食べられて気軽に  
楽しめるフレンチ料理の  
お店です。

**人数** 35名程度

**会費** 無料

**世話係** 深谷 裕子

幼児教育学科 第一部  
昭和61年 3月卒業



参加  
無料

オカジョ・オカタン卒業生  
ならどなたでも  
参加できます

参加希望の方へ

お名前、ご住所、お電話番号を  
お知らせください。

**申込期限**  
平成29年6月9日(金)

★定員になりしだい切とさせていただきます。

メール doso@okazaki.ac.jp

Tel 0564-28-3317

Fax 0564-28-3310

担当 長野・野村

**ところ** 高浜市かわら美術館内  
フレンチレストラン「Omi」  
〒444-1325 愛知県高浜市青木町9丁目6番地18  
TEL 0566-52-6566  
http://restaurant-omi.com/  
●現地集合です

**アクセス**

- 名古屋方面からお車でお越しの場合
  - ・知多半島道路阿久比インターから約15分
  - ・国道23号(知立バイパス)西中インターから約20分
- 豊橋方面からお車でお越しの場合
  - ・国道23号(知立バイパス)高棚福釜インターから約15分
- 電車利用の場合
  - ・名鉄三河線「高浜港駅」から徒歩約8分



## 「お帰りなさい岡女・岡短へ」 ご案内

卒業生のみなさん、お元気ですか？  
社会に出て、嬉しかったこと、困ったこと、辛かったこと、社会人として多くの経験をされていることでしょう。  
そこで、右記の通り「お帰りなさい岡女・岡短へ」を企画しました。  
久しぶりに母校を訪れて、懐かしい先生や学生時代の仲間と語り合いませんか。  
1日岡女・岡短生に戻って、楽しいひとときを過ごしましょう。

①お名前 ②卒業学部・卒業学科 ③在籍中の学籍番号 または  
〇〇年3月卒業生

●上記①②③を進路支援課へ、メールまたははがきでお申し込みください。

メールアドレス: shushoku@okazaki.ac.jp

Tel: 0564-28-3317 (進路支援課直通)

〒444-0015 愛知県岡崎市中町1-8-4 担当: 進路支援課

**申込期限 平成29年7月7日(金)**

**とき** 平成29年7月16日(日)  
10:00~13:30

**ところ** 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学  
SKホール、カフェテリア

**日程**

9:30~	受付 2号館1階
10:00~10:20	オープニング
10:20~11:50	本学の教員による音楽会
12:00~13:30	昼食、情報交換(カフェテリア)
13:30	終了

カフェテリアでランチ(無料)を  
とりながら、おしゃべりしましょう。



昨年の様子



## OG合唱団名決定! 団員募集

「もう一度みんなで歌いたい」そんな思いから集まったOG合唱団が発足一周を迎え、  
団名も決まり、より楽しんで活動しています。合唱団名は「和っふる」です。

「和=和音、仲良くする、とけあう、和む、輪、話」「ふる=FULL、一杯、たくさん」

「わっふる=甘くて美味しい(〽)みんな大好き♡」の意味が込められています。仲間を  
募集しています。代表者までご連絡ください。

**代表者** 幼児教育学科 第一部 昭和55年 3月卒業  
宮下 090-4263-6972



女声合唱団♡和っふる♡

**日時** 平成29年 5月14日(日)  
 9:30~ 同窓会総会受付開始  
 10:00~ 同窓会総会  
 10:40~ ダンス部発表  
 11:00~12:30 講演会



**講演名** 楽しく子育ていきいき毎日~それぞれの立場でできること~

**講師** 育児漫画家・絵本作家  
**高野 優(たかの ゆう)氏**

**場所** 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 SKホール



高野 優  
Takano You

**Profile**

育児漫画家・絵本作家であり、大学生、高校生、中学生の母。2015年日本マザーズ協会よりベストマザー賞を受賞。マンガを描きながら話をするという独特のスタイルで、育児に関する講演活動を全国でおこなっています。NHK教育テレビにて「土よう親じかん」「となりの子育て」の司会のほか、2015年より日本テレビ「スッキリ!!」にてコメンテーターとして出演中です。著書は、『よつつめの約束』(主婦の友社)、『思春期ブギ』(ジャパンマシニスト社)等、40冊以上になり、台湾や韓国等でも翻訳本が発売されています。

**出版**

「松本ぶりっつ×高野優子育てバッチコイ!」(竹書房)  
 「高野優の思春期ブギ」(ジャパンマシニスト社)  
 「よつつめの約束」(主婦の友社)



**講演会**

入場 無料 予約制

チラシ裏面のハガキまたはメールに、希望の人数をご記入いただき、お申し込みください。

**応募方法** ハガキの場合

チラシ裏面の応募ハガキにて必要事項をご記入のうえご応募ください。

**メールの場合**

件名は「講演会申込」、本文には代表者のお名前(同窓生・一般)、郵便番号、住所、電話番号、希望人数を入力し送信してください。  
**メール: doso@okazaki.ac.jp**

締切日:平成29年4月28日(金)

\*この個人情報は、他に転用することはありません。

同窓会員以外の方もご入場できます。講演会は予約制です。

お申し込みの方にチケットを郵送します。

駐車場には限りがございます。できるだけ公共交通機関でお越しください。

先着10名様 未就学児の託児希望があれば申し込みください。

**母校、同窓会との繋がりを!**

同窓会事務局では、同窓生の名簿管理をしています。会報や総会のご案内など皆様にお届けしておりますが、毎年住所などご不明になる方が多数いらっしゃいます。

もし姓名や住所変更などがございましたら、お知らせください。

**同窓会 学内幹事**

住所:〒444-0015 愛知県岡崎市中町1-8-4  
 電話:0564-28-3317 メール:doso@okazaki.ac.jp

\*個人情報の取り扱いは、細心の注意を持って管理しています。同窓会の総会案内・会報の送付、就職支援活動の情報提供に必要な範囲で使用します。

**同窓会報発行協力金についてのお礼とお願い**

同窓会報「さかみち」を発行することができました。これも同窓生の皆様によるご支援の賜物と感謝しております。本同窓会は新加入者の会費で運営され、その大半は総会案内、講演会などのご案内の通信費に使われます。毎年増加する会員の皆様に向けての会報をより充実していくためにも皆様のご協力が不可欠となります。平成28年度、55名の方より、122,000円のご支援を賜りました。ここにご報告させていただきます。

今年も払込用紙を同封させていただきますので、皆様のご支援をお願いいたします。

●協力金 ●  
 ー□1,000円以上

●振込先:郵便局  
 ■口座番号 00850-6-188481 ■加入者名:さかみちの会

**教員免許状更新講習について**

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学では、「教員免許状更新講習」を実施する予定(認定申請中)です。

平成29年度の開催は8月上旬を予定しています。詳しくは4月下旬以降、本学ホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。

**卒業後の就職サポートをします!**

**お仕事ナビに登録してみよう。**

卒業生の方も、就職支援情報システム「お仕事ナビ」を活用して、求人情報を受け取ることができます。

「お仕事ナビ」は、幼稚園、保育所、認定こども園、施設などからの求人情報と卒業生からの就職希望をマッチングさせ、有効性の高い情報を携帯電話、パソコンのメールやWEBのページでお知らせする本学独自の情報システムです。

「お仕事ナビ」へは、岡崎女子大学(<http://www.okazaki-u.ac.jp>)岡崎女子短期大学(<http://www.okazaki-c.ac.jp>)のトップページにある「お仕事NAVI」から受付ページにお進みください。必要な事項を入力してボタンを押すと、進路支援課に申し込みの希望が送信されます。



**保育の現場で働いてみませんか!**

今、保育を支える人材確保が急務となっており、資格を持ちながら保育士として働いていない方の職場復帰に向けた支援をしています。再就職を希望されている方、保育の現場で働きたい方、ぜひご連絡をお待ちしています。

岡崎女子大学 shushoku@okazaki.ac.jp  
 岡崎女子短期大学 電話 0564-28-3317 FAX 0564-28-3310  
 進路支援課